

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書2章22～38節＞  
不思議な二人の人物、シメオンとアンナ。彼らが意味することは？

### 1 (22-24) 私たちに模範を示されたイエス様。

聖書は、マリアとヨセフが生まれたてのイエス様を、イスラエルの信仰的習慣の下に置いたことを記しています。ヘブライ人への手紙 2:17に、「民の罪を償うために、すべての点で兄弟たちと同じようにならねばならなかった」とあります。イエス様の洗礼もこのことから考えると分かります。信仰者たちは私たちの罪を赦すための神様の方法を旧約聖書に基づいて思い巡らして来たのです。また聖書はイエス様が洗礼を受けられたことも記していますが(マタイ 3:13 以下)、このことから初代教会以来、「イエス様がその模範を示して下さったのだから、私たちも洗礼を受けるべきなのだ」ということを聞き取り、伝え続けて来たのです。

### 2 (25-38) この二人が語ることに耳を澄ませて聞くことが大事!

シメオンとアンナは福音書に出て来る人物の中でも特に不思議な存在です。不思議に思えるのはなぜか？ 二人とも信仰があつく(25.37)、シメオンには聖霊が多く注がれ(25, 26, 27)、アンナはすべての時間を神殿で過す人でした(37)。神様はこの二人に特別な使命を与えたのです。ですから、この個所はこの個所に記されたことに耳を傾けて聞かなければならない、最も聖書らしい個所だと言えます。

では、二人が言っていることは何か？ この方、イエス・キリストが神様が約束して下さった救い主だということです。「これは万民のために整えてくださった救いで、異邦人を照らす啓示の光、あなたの民イスラエルの誉れです。」(31-32)。「啓示」は福音書でここだけに出て来る言葉で「覆いを取り除く」意味です。神様がイエス・キリストを通して初めて示されることがこの出来事を通して語られているから、ここから聞かなければならないのです。「これは(イエス・キリストは!)万民のために整えてくださった救いで、異邦人を照らす啓示の光」であることをです。パウロはこの啓示についてこう語っています、「福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。『正しい者は信仰によって生きる』と書いてあるとおりです。」(ローマ1:17)。20世紀の初め、カール・バルトという改革派の神学者が、混迷する世界の中で聖書の正しい読み方を示し、世界に希望と力を与えました。彼が示した聖書の読み方こそ、「聖書に聞く」という啓示神学と呼ばれた読み方だったのです。